

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	友人の来訪等に協力して対応しているが、いつも同じ方ばかりになっている。本人・家族からの依頼にはできるだけ対応しているが、訴えのない方の関係継続にはつながっていない。	自分で思いを表現出来ない方も家族の協力を得て、読み取り少しでも関係の継続を支援していきたい。	・自発性のすくない利用者からも何とか情報を引き出し家族と連携の上ニーズを汲み取る。実現するにあたり問題になっている点を把握し協力できる事、相互性を探る。職員だけで動かず、家族の協力も得て、家族との関係の向上に繋げる。	12ヶ月
2	42	認知症が進行してくると歯科への受診が難しくなってくる。また口腔内の不具合も訴えづらく毎食後の口腔ケア援助を行っているが不十分な方もいる。	できるだけ口腔内をよい状態に保ち感染症を予防すると共に食事を安全に楽しくできる様にする。	協力医院の歯科衛生士に利用者の口腔内の状態を見てもらい、その方に対する口腔内維持の情報・指導を得て日々の口腔ケアを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。